

# 令和7年度 事業報告書

# 公益財団法人ふくい産業支援センター

## 令和7年度 事業報告

### 概要

令和7年度の県内経済は、北陸新幹線延伸の波及効果や観光需要の堅調さにより、個人消費や設備投資を中心に持ち直しの動きが続いた一方で、物価高騰の影響や企業倒産の件数・負債額が前年度より上回るなど先行きに懸念も残りました。こうした中、当センターでは県内企業の新分野進出等を促進する中核的支援機関として県や他の機関等と連携を図りながら、新しい取組に意欲的にチャレンジする企業を積極的に支援しました。

中小企業の抱える様々な経営問題に対して幅広く対応するため、ニーズに合った支援施策の助言等を行う、中小企業診断士資格を有するコーディネーターを窓口配置し、県内中小企業の課題解決を支援しました。

県内企業のデジタル技術による業務やビジネスの変革を促進するため「ふくいDXオープンラボ」を運営し、DX専門家が相談に対応しました。また、業種別DX実践研修や社内人材リスク研修など、企業がDXを推進するために必要な社内人材を育成および確保する研修の開催、更にはふくいデジタル推進アライアンスの活動を中心に県内支援機関と連携しながら県内企業のデジタル活用を推進しました。これにより県内各地域での出張相談会の開催、また支援機関DX担当者向け勉強会やDX推進ガイドラインおよび県内企業の取組をまとめたデジタル活用事例集の作成など様々な活動を実施しました。

成長を目指す起業家や後継ぎ経営者に対して総合的な支援を行うため、ベンチャー向け相談窓口の設置し、若手起業家によるNEXTベンチャープレゼン会の開催、上場企業経営者を塾長にベンチャー企業経営者に向けた戦略塾や福井ベンチャーピッチの開催、また、IPO（株式公開）を目指すベンチャー企業に対して必要なスキルや知識の体系的かつ実践的研修の実施、および専門家による個別メンタリングを実施しました。

県内外への販路開拓を希望する食品および生活雑貨関連業者を対象に、大規模専門展示会「東京インターナショナルギフトショー [LIFE×DESIGN]」および「スーパーマーケット・トレードショー」への出展支援、また、百貨店等の県内外流通業者とのWeb商談会等により取引マッチングの機会を提供しました。

県内中小企業等の地域資源を活用した商品開発や新事業展開のほか、北陸新幹線の開業効果を維持・最大化させるための観光客の受入れにかかる店舗改装や設備導入、また、企業のDX化などの取組に対する資金支援を行いました。

企業のモノづくりのための技術開発、新技術の研究開発、国や他機関の公募型受託事業および補助事業を活用した産学官金の緊密な連携・交流などを通じて、技術開発・商品開発を総合的に支援しました。中でも県外大企業との技術交流支援では、商品開発・研究部門を対象とした技術交流会を開催、商品開発の初期段階への売込みを促進し、共同研究の実施につなげ、県内企業の販路拡大を支援しました。

令和6年に福井のまちなかに開設した県内クリエイターと事業者、県民が気軽に交流できる拠点「ふくいクリエイティブ・ホーム Cream」においては、多くのマッチングが行われデザインの価値創出を促進しました。またクリエイター向けのスクーリングが毎月開催され交流、人材育成が図られました。

中小企業産業大学校において、体系的な集合研修のほか、「ものづくり改善インストラクタースクール」を継続して開講し、幅広い人材の育成を支援しました。また、オンデマンド型リスキリングを促進するオンデマンド学習サービスの受講環境を整備し、地理的、時間的な制約を持つ県内企業従業員等の積極的な学び直しを支援しました。

## 事業報告

### 経営相談、創業・経営革新支援、経営情報の収集・提供に関する事業 【公益目的事業1】（397,782,476円）

県内中小企業等が抱えるさまざまな経営課題に対して、各分野の専門家の適切な助言や施策紹介、創業間もない企業や新商品開発・新事業展開に取り組む企業への事業計画作成支援・課題解決への助言および取組みの推進、中小企業等のIT活用の促進、企業経営に役立つ地域経済・産業および中小企業動向等に関する情報提供を行いました。

#### （1）ふるさと企業成長促進（11,230,746円）

##### ①総合相談窓口

企業経営に関する幅広い知識とITや生産現場改善等の専門的なノウハウを持つ中小企業診断士を常時配置し、対面相談だけでなく、電話やビデオ通話も活用しながら事業計画作成や経営革新、生産性向上等の相談に対して支援施策の提案を含めた適切な助言を行いました。また、敦賀市にある嶺南サテライトオフィスでも相談に対応しました。

○相談実績	1,981件	うちオンライン相談	180件
		うち嶺南相談	454件

##### 《主な相談内容》

- |                |       |
|----------------|-------|
| ① 経営指導に関する相談   | (28%) |
| ② 販路開拓に関する相談   | (16%) |
| ③ 情報提供に関する相談   | (13%) |
| ④ 融資・補助金に関する相談 | (9%)  |
| ⑤ 経営革新に関する相談   | (7%)  |
| ⑥ 新規創業に関する相談   | (1%)  |

○経営革新承認件数 9件

##### ②専門家派遣

経営革新計画や事業継続力計画等に関わる相談について、民間の専門家を派遣（3回まで無料、4、5回は上限1万円企業負担）し成果目標の達成を支援。

○利用事業者なし

#### （2）よろず支援拠点〔経済産業省委託〕（66,409,346円）

中小企業・小規模企業者の経営支援体制をさらに強化するために国が設置した本県の「よろず支援拠点」として、よろず支援コーディネーターを中心に、総合的・先

進的経営アドバイスや支援機関の連携チームにより、新規事業に取り組む事業者や売上拡大を目指す事業者等に対し、支援施策の活用に関する助言や総合的・先進的経営アドバイスをワンストップで行いました。

《チーフコーディネーター》1名 《コーディネーター》44名

○相談実績 4,577件

### (3) 高度化事業診断 (3,060,042円)

県が実施する中小企業高度化事業に伴う診断業務を受託しました。

○診断件数 2件

### (4) DX(デジタルトランスフォーメーション)推進 (58,145,103円)

DXに取り組む企業のための拠点施設を運営するとともに県内支援機関との連携を強化しながら、専門家によるアドバイスおよび伴走支援、社内人材の育成研修、研究会の開催、成功事例の共有等の取組をとおして、デジタル技術活用のレベルアップを図り、県内企業のDXを推進する事業を実施しました。

#### ①ふくいDXオープンラボの運営

県内企業のデジタル活用による業務やビジネスの変革を促進することを目的に「ふくいDXオープンラボ」を運営しました。

##### (ア) ふくいDXオープンラボの運営

○利用者数 1,796人

##### (イ) 専門家による窓口相談対応

○相談対応件数 263件、出張相談対応件数 25件

##### (ウ) 最新デジタルツールの体験コーナー運営

○年間15種類(常設展示8種類、期間展示7種類)

##### (エ) 定期的な勉強会・研究会の開催

○勉強会の開催 16種類 17回 参加者数225名

○AI研究会の開催 1種類 5回 参加者数150名

##### (オ) ふくいDX推進宣言企業の認証

○認証企業 20社(累計149社)

#### ②DX推進チームの設置

DX戦略アドバイザー、相談マネージャーを中心に、ITに詳しいスタッフからなるチームで県内企業のデジタル活用を支援しました。

#### ③DXセミナーの開催

DX促進のためのDXセミナーを開催しました。

○開催数 2回 参加者数 386名

#### ④DX推進人材の育成・確保

中小企業者等がDXを推進するために必要な社内人材を育成および確保する研修を実施しました。

##### (ア) DX社内人材育成研修

○ふくいDX経営塾（経営者向けDXゼミ） 1回 参加社数12社

○作って学ぶ「IoT」実践講座 1回 参加社数6社

##### (イ) 業種別DX実践研修

○製造業向けロボット活用実践講座（配膳ロボット編） 1回 参加社数8社

○製造業向けロボット活用実践講座（4軸ロボット編） 1回 参加社数7社

##### (ウ) 社内人材リスキリング研修

○ふくいDXスクール 1回 参加者数46名

##### (エ) 学生デジタルスキル実践プログラム

○全5回 9チーム参加

#### ⑤DX専門家派遣

IT専門家を無料で派遣し（1社あたり最大3回）、業務改善や生産性向上、ビジネス変革のためのデジタル技術活用法についてアドバイスを行いました。

○派遣件数 46社

#### ⑥専門家チームの伴走支援によるDXプロジェクト支援

ITコーディネーターを中心とした専門家チームが、企業のDX推進プロジェクトの運営を、コア人材の育成も含めて伴走支援しました。

○伴走型DX推進プロジェクト

支援件数 新規7社

#### ⑦他の支援機関との連携強化

「ふくいデジタル推進アライアンス」の活動を中心に、県内支援機関・金融機関と連携しながら、出張相談や成功事例の共有をとおして企業のDXを促進しました。

○出張相談会15回（商工会・商工会議所8回 金融機関7回）相談件数25件

○実践事例集の作成 1冊 10事例

○DX支援者向け勉強会の開催 回数 1回 参加者数 21名

○ふくいデジタル推進アライアンスの活動

#### (5) 福井県産業情報センター運営（133,759,565円）

##### ①産業情報センター施設運営

県からの指定を受け、情報産業振興の拠点施設である福井県産業情報センタ

一の各施設・設備の貸出や維持管理等の運営業務を行います。入居施設やワーキングスペース、マルチメディアサポートセンター等を有効に活用し利用促進を図りました。

<施設の入居および貸出件数>

○インキュベートルーム、共同研究室、技術開発室の入居件数	3 1 7 件
○マルチホール、会議室等の貸出件数	6 4 6 件
○マルチメディア制作コーナーの貸出件数	8 9 件
○嶺南支所パソコン実習室の貸出件数	1 4 件

(同室の相談等貸出以外の件数 7 5 4 件)

②情報化人材育成

県内中小企業等の情報化人材の育成・確保を支援するため、IT関連研修を産業情報センターおよび嶺南支所で実施しました。遠隔地で開催している専門的な研修を情報センターで受講できる「サテライト研修」を実施しました。

○集合研修 6 6 種類 (8 9 回) 受講者数 9 8 5 名

○サテライト研修 1 8 種類 (2 4 回) 受講者数 2 7 名

(6) 学生ソフトウェアコンペティション (6 3 6, 8 8 4 円)

○ふくいソフトウェアコンペティションの実施

次世代を担う IT 技術者の発掘・育成するため、学生対象のソフトウェアコンペティションを実施しました。

・応募数 2 5 作品 入賞数 1 0 作品

・表彰 ふくいソフトウェア大賞 (福井県知事賞) 1 作品

ふくいソフトウェア優秀賞 2 作品

IT 産業団体連合会会長賞 1 作品

協賛企業賞 6 作品

(7) 支援センター見える化強化 (5, 9 3 4, 2 0 0 円)

情報誌やホームページ、イベント開催等を通じて、当センター事業や成果のほか、企業経営や産業に関する情報を広く発信しました。

(ア) 情報誌「F-ACT」

最新の経済トピックスをテーマとした特集や、経営、マーケティングに役立つ連載、新事業に取り組む県内企業インタビューなど、県内企業に役立つ情報を掲載した情報誌を隔月で発行しました。(発行部数 3, 4 0 0 部)

○情報誌の発行 6 回

(イ) インターネットによる情報提供

当センターホームページや、SNSを積極的に活用して、企業に役立つ情報をタイムリーに発信しました。

(ウ) 情報センターを会場としたイベント

ソフトパークふくいと連携し、情報化をテーマに基調講演やパソコンを使ったワークショップ、セミナー等を集中して開催するイベント「クマンドウデジタルアライブ」を、情報センタービルで実施しました。

開催日：令和7年9月25日（木）～28日（日）

概要：セミナー等開催 41回 来場者数 2,688人

(エ) 冊子やパネルによる広報

支援成果を紹介するパネル展の開催や、パンフレット、活用事例集等を作成・配布して事業の周知に努めました。

(8) ふくいナビ等機器管理（7,929,533円）

「福井県産業情報ネットワーク」（愛称：「ふくいナビ」）の機器管理およびホームページやメールマガジンの運営を行い、中小企業支援機関における情報の共有化を推進しました。

○メールマガジン「ふくいナビ情報」 講読者数 1,937人

（令和7年度末現在）

(9) ふくいベンチャー創出プロジェクト（6,736,554円）

①ベンチャー・ブラッシュアップアドバイザーの設置

専門家を設置し、ベンチャー企業を目指す経営者に対して、ビジネスモデルや事業計画書の作成方法について助言しました。

○相談実績 33件

②ベンチャー啓発・成長支援

成長意欲の高いベンチャー企業経営者等に向けたセミナーおよび参加型の勉強会を開催しました。

(ア) ベンチャー創出セミナー

○開催回数 3回 参加者数 332名（会場209名・オンライン123名）

(イ) NEXTベンチャープレゼン会／NEXTベンチャー塾<sup>新</sup>

○開催回数 1回 参加者数 11名

③有望ベンチャーの育成支援

(ア) 福井ベンチャー塾（ベンチャー戦略塾）の実施

上場企業経営者を塾長に、ベンチャー企業経営者等を対象とした「福井ベンチャー塾」を実施しました。

○開催回数 6回（シリーズ） 参加人数 延べ72名

(イ) 福井ベンチャーピッチの開催

ベンチャー企業経営者が、ベンチャーキャピタル、金融機関等に対してビジネスプレゼンを行うピッチイベントを実施し、資金調達、販路拡大、ビジネスパートナー獲得等を支援しました。

○第11回福井ベンチャーピッチ（福井ベンチャーサミット）

ピッチ登壇者 8名

聴講者 420名（会場230名、オンライン190名）

(ウ) 福井アクセラレーションメンタリングの実施

上場を目指すベンチャー企業に対し、専門家による個別メンタリング（事業計画実現に向けたアドバイス）を実施しました。

○開催回数 4回 対象企業 6社

④ (エ) IPO経営人材育成プログラムの実施

IPO（株式公開）を目指すベンチャー企業に対してIPOに必要なスキルや知識の体系的かつ実践的な研修を実施しました。

○開催回数 2回 参加者数 12名

**販路開拓支援に関する事業【公益目的事業2】（68,414,937円）**

県内中小企業の自社商品の情報を広く発信するとともに、各種商談会・展示会への出展を後押しすることで、県内外企業との取引拡大と受注の安定を支援しました。

(1) ふくいの県産品マッチング機会創出支援（11,233,262円）

県内外への販路開拓を希望する食品や県産品関連業者を対象に、大規模食品専門展示会への出展支援や、百貨店等の県内外流通業者とのWEB商談会の開催等により、取引マッチングの機会を提供しました。

また、WEBサイトを活用した商品情報の提供や食品バイヤーとの個別取引マッチングなどを行いました。

① 大規模専門展示会「東京インターナショナルギフト・ショー」への出展支援

出展企業 全10社

来場者数 219,261名（主催者発表）

② 県外流通業者との個別商談会の開催 4回

○第1回・第2回ふくいの県産品オンライン商談会（対象商品：食・雑貨）

参加企業 全21社 参加バイヤー数 全12社

商談件数 全59件

○第3回・第4回ふくいの県産品オンライン商談会（対象商品：食・雑貨）

参加企業 全24社 参加バイヤー数 全10社

商談件数 全53件

③食品バイヤー向けWEBサイトの運営

○登録企業数 85社 （掲載商品累計 230品目）

○展示商談会やWebサイトを通じたマッチング件数 346件

(2) SMTS出展支援事業（3,408,429円）

大規模専門展示会「スーパーマーケット・トレードショー」への出展支援

出展企業 全16社 ※支援センター6社、敦賀商工会議所6社

小浜商工会議所4社

来場者数 80,922名（主催者発表）

(3) 取引かけこみ寺（634,560円）（(公財)全国中小企業振興機関協会委託事業）

取引の適正化を推進するため、「取引かけこみ寺」相談窓口において、専門家による相談対応や紛争解決の支援を行うほか、県内各地において弁護士による移動法律相談会を開催しました。

① 相談業務

中小企業の取引に関する相談窓口「下請（取引）かけこみ寺」を設置し、専門家が対応しました。また、取引上で発生した苦情やトラブルについて、登録弁護士が無料で相談に応じました。

○相談件数 96件

○無料弁護士相談 21件

②裁判外紛争解決（ADR）業務

中小企業者が抱える取引等に関するトラブルを、裁判外紛争解決（ADR）手続きにより調停を実施し、迅速な解決を図るため、県内企業に対して制度の紹介など普及啓発を行いました。

③移動相談会等の開催

中小企業者の取引に関する相談について、登録弁護士が出向き「移動相談会」を開催しました。

○開催回数 6回 相談件数 3件

**(4) 下請支援体制整備 (1, 159, 497円)**

都道府県における中小企業支援の中核的な支援機関として、全国協会と連携し実施する事業のほか地域中小企業の振興・発展に係る支援事業を実施しました。

**(5) 海外事務所運営管理 (41, 329, 482円)**

福井県が中国・上海に開設している海外事務所の運営管理を行いました。

**資金支援に関する事業【公益目的事業3】(114, 065, 364円)**

県内中小企業等の地域資源を活用した商品開発や新分野展開のほか、北陸新幹線県内開業効果の維持・拡大や、スタートアップの成長、企業のDX化などの取り組みに対する資金支援を行いました。

**(1) ふくいの逸品創造ファンド (7, 399, 770円)**

「ふくいの逸品創造ファンド」として県より借り入れた60億円を地方債で運用し、その運用益で、地域資源を活用した中小企業等の商品開発や販路開拓等に対して助成しました。

①地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援

県内の特色ある産業資源（福井の強み）を基に、顧客ニーズを的確につかんで商品計画を立て、最も有利な販売経路を開拓する中小企業等の取り組みに対して、市場調査やテストマーケティング、販路開拓等の経費の一部を助成しました。

○対象者 県内に事業所を有する中小企業等

○助成条件

(ア) 地域資源を活用した新商品開発および販路開拓

助成率 中小企業者1/2 小規模企業者2/3

助成限度額 2,000千円

新規採択事業数 10件

交付決定額 16,853千円

(イ) 地域資源を活用し直近3年以内に商品化した商品の販路開拓

助成率 中小企業者1/2 小規模企業者2/3

助成限度額 1,000千円

新規採択事業数 2件

交付決定額 2,000千円

②ファンド管理

事業説明会、フォローアップ、審査委員会運営等のファンド管理のための事務を行いました。

## (2) ふるさと企業育成ファンド（177,951円）

県内中小企業の元気再生につなげるためにふるさと企業育成ファンドの運用益で支援してきた県内中小企業や創業者に対するアフターフォローのほか、県内ものづくり企業への技術系人材の就職促進に対して支援しました。

### ①新分野展開スタートアップ支援

これまで本事業にて支援してきた中小企業に対するアフターフォローを行いました。

### ②創業支援

これまで本事業にて支援してきた創業者に対するアフターフォローを行いました。

### ③ものづくり人材育成修学資金貸付支援

これまで本事業にて修学資金を貸与してきたものづくり人材育成修学資金の貸与者に対するアフターフォローを行いました。

### ④新事業チャレンジステップアップ

令和3年度に本事業にて支援した中小企業に対するアフターフォローを行いました。

## (3) ふくい地域経済循環ファンド（21,955,367円）

「ふくい地域経済循環ファンド」として県より借り入れた100億円を国債・地方債等で運用し、その運用益（年間約24百万円）と県補助金（約6百万円／年）で、高い成長意欲と優れた技術を持つ中小企業の企業規模拡大に向けた新事業展開の取り組みに対して支援しました。

### ①福井型スタートアップ・新事業創出

- 補助対象 県内中小企業者のうち年間売上高が10億円未満の者
- 助成条件 助成率 2/3 助成限度額 3,000千円
- 採択者数 9件（応募11件） 交付決定額 23,752千円

### ②新事業チャレンジステップアップ

令和4年度～令和6年度に本事業にて支援した中小企業に対するアフターフォローを行いました。

### ③成長企業スケールアップ支援

令和6年度採択企業に対し、中間検査・フォローアップを行いました。

④(4) 集客力アップに向けた課題解決応援 (3,681,821円)

北陸新幹線の開業効果を県下全域に波及させ、その効果を維持・最大化するために、売上が伸び悩んでいる店舗に対して、観光客受入れにかかる課題を解決するための店舗改装・設備導入に対する経費の一部を助成しました。

- 助成対象 県内に事業所を有する中小企業者等
- 助成条件 助成率 1/3 助成限度額 1,500千円
- 採択者数 3件(応募5件) 交付決定額 4,000千円

(5) デジタル技術活用促進 (45,719,596円)

DX化を促進するために必要なITシステム導入の費用を支援しました。

①DX加速化補助金

- 助成対象 新たにIoT・AI・RPA・クラウドサービス等のデジタルツールを導入し、業務効率化および生産性や売上の向上ならびに新サービスの創出を目指す企業を支援。
- 助成条件 補助率1/2(小規模事業者2/3)  
補助上限額: 4,000千円
- 採択件数: 1次 8件 交付決定額 27,944千円  
2次 8件 交付決定額 19,725千円

②ものづくり企業におけるデジタル変革支援

(ア)DXナビゲータによる対象企業の掘り起こし

ものづくり企業のデジタルトランスフォーメーションを推進するため、専門家による対象企業の発掘する体制を整備しました

- 訪問企業数 41社

(イ)計画的なデジタル投資の支援

効果的なデジタル投資を促進するため、経験豊富な専門家がDX戦略計画の策定を支援しました。

- 支援企業数 2社

(6) 学生起業応援 (0円)

学生起業家に対して事業にかかる初期経費を支援しました。

- 助成率 10/10 助成限度額 950千円/年
- 助成件数: 0件(1件中止) 交付決定額: 950千円
- ※事業中止の為、辞退

## (7) 設備貸与 (26, 100, 774円)

### ①小規模企業者等設備貸与

過年度までに本制度で貸与した利用者からの割賦料もしくはリース料の回収、および県に対する借入金の償還等を行いました。また、この制度を利用中の企業に対して、経営指導などのフォローアップを行いました。

※令和5年度より新規貸与申込受付は休止。

### ②設備貸与債権管理

平成26年度までの設備貸与事業の利用者に対する債権管理を行いました。

#### [債権管理状況]

##### ○正常債権の状況

年度末残額 1, 852千円 (リース1, 881千円)

##### ○未収債権の状況

年度当初未収債権額 9, 752千円 (3件)

年度内増加額 0千円 (0件)

年度内減少額 997千円 (3件)

年度末残高 8, 755千円 (3件)

#### [利用状況調査および巡回指導事業の実施状況]

○利用状況調査 1件 巡回指導の実施 1社

## 技術開発・デザイン振興に関する事業【公益目的事業4】

(147, 651, 431円)

県内産業を支える企業のモノづくりのための技術開発、新技術の研究開発、国や他機関の公募型の受託事業および補助事業を活用した産学官金の緊密な連携・交流、商品企画やデザイン活用によるブランド力強化のためデザイナーの派遣や研修、大都市圏で活躍するバイヤー等による市場戦略指導などを通じて、技術開発・商品開発の促進、経営基盤の強化等を総合的に支援しました。

### (1) ふくいブランドものづくり推進 (10, 062, 770円)

#### ①ふくい産業技術広報

技術情報を掲載した機関誌「テクノふくい」の発行や、大学や公設試の技術シーズ展示等を実施しました。

○機関誌発行 2回 (デジタルブックにて発行)

○技術展開催 福井県工業技術センター一般公開にあわせて、

「ふくいオープンイノベーション推進機構設立10周年記念  
技術展 ～一歩先を見据えた技術開発～」開催

○展示会出展 北陸技術交流テクノフェアなど

②新技術・新工法商談会支援

県内企業の販路拡大・市場開拓に向けて、医療機器・ヘルスケア機器の開発、製造技術が一堂に会する展示会『第16回ヘルスケア・医療機器開発展』に企業合同ブースで出展しました。

福井県ブースでの商談状況（出展7社 3日間合計）

名刺交換・商品説明をした数	: 353件
試作・見積・図面検討の依頼数	: 6件
サンプル提供の依頼数	: 69件
後日企業訪問・打合せの約束	: 32件
商談成立数	: 0件

③技術研究開発マンパワー育成

将来の技術研究開発を担う人材を育成するため、繊維分野における優秀な県内技術者・研究者2名を表彰しました。また、若手技術者・研究者の海外展示会での先端技術の発表に対して助成しています。

- 表彰 繊維技術功績賞 2名
- 助成 次世代技術国際発信支援 2件

④オープンイノベーション推進部運営

産学官連携の推進を図るための事務を行いました。

(2) 産学官連携・交流 (3,390,053円)

①産業技術コーディネート

先進施設等の調査を行い、また企業の技術者とともに大学研究室訪問を実施するなど、技術ニーズと研究シーズのマッチングのためにコーディネート活動を行いました。

○ふくいオープンイノベーション推進機構の運営

○イノベーションリサーチ交流会（IR交流会）の開催 21回

オープンイノベーション推進部で主催するセミナー等のイベントおよび連携（共催、後援など）して行うイベント開催により、参加者間の交流を図るとともに国等の支援制度を活用した新たな開発プロジェクトの探索を行いました。

○産業技術先進地視察の開催

福井県立大学 地域経済研究所共催のもと、北陸新幹線を活用した企業間交流の促進を掲げ、技術軌道を活かして発祥技術からイノベーションを起こ

して技術および企業の発展を遂げた地域として上越地区を選定し、技術革新による新素材開発を推進している企業およびメッキ加工技術を基盤に知恵と工夫で製品開発に取り組んでいる企業の2社を訪問し、企業見学会を実施しました。

日時：令和7年12月11日

行程：上越妙高駅集合→(株)有沢製作所→新和メッキ工業(株)

参加者：県内企業8社11名

#### ○研究会等活動支援

##### 1) 研究会活動支援

各種の研究会に対し、セミナー開催、講師招聘、高度技術研修会、企業ニーズ・シーズマッチング等の支援を行いました。

- ・ふくいCFRP研究会 「複合材料セミナー」
- ・ふくい産業ロボット研究会 「ロボット導入セミナー」
- ・ふくい宇宙産業創出研究会

「第1回ふくい宇宙産業創出研究会 公開セミナー」

「宇宙科学技術連合講演会出展」

「人工衛星設計基礎論 2025」

「第2回ふくい宇宙産業創出研究会 公開セミナー」

「真田KOA社を県内企業、福井大学とマッチング」

##### 2) 県内企業と研究者とのマッチング活動

産学官金連携・交流を促進するため、企業の技術課題に対し、産学官金連携体制構築、外部資金制度の活用・申請、事業推進支援など、伴走型の支援を実施しました。

公募型共同研究プロジェクト申請支援：10件

共同研究事業推進支援実績：4件

- ・県内産業価値づくり支援事業補助金（県産業労働部）  
新規1件、継続1件
- ・嶺南地域新産業創出モデル事業補助金  
（若狭湾エネルギー研究センター） 継続1件
- ・戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業 実証事業  
（内閣府） 新規1件

#### ②産総研等連携推進

産業技術総合研究所（産総研）等と県内企業とのマッチングや、共同研究に向けた可能性試験調査研究（FS）を支援することにより、県内企業の新たな研究開発の促進や販路開拓を支援しました。

- マッチングイベントの開催（出展イベント等） 6回
- 産総研連携研究支援（可能性試験調査研究） 1件

### ③研究開発創出・補完研究開発支援

当センターがこれまでに推進してきた産学官共同研究プロジェクトの成果を活用し、実用化を目指して研究開発していく企業の補完研究を支援しました。

## (3) 広域的連携技術研究開発（68,894,728円）

### ①成長型中小企業等研究開発支援（経済産業省補助事業）

中小企業等が大学、公設試等の研究機関等と連携して行う、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けた研究開発及び事業化に向けた取組を一貫して支援しました。

[研究テーマ] 継続2件（A、B）

- A ガラス三軸織を使用した自律型スマート内装材の開発  
(サカセ・アドテック㈱、JAXA、福井大学、福井県工業技術センター)
- B 生菌数の自動判定を実現する電気化学センサシステムの研究開発  
(植田工業㈱、福井大学、福井県工業技術センター)

[研究期間]

- A 令和6年度～令和8年度（3年間）
- B 令和6年度～令和8年度（3年間）

### ②中小企業等海外展開支援（経済産業省補助事業）

知的財産（特許や商標など）を活用し、戦略的に海外事業展開を図る県内の中小企業者等に対して、外国特許庁への出願費用の支援を行いました。

○支援企業数 6社 7件：特許3社（4件）、商標3社（3件）

## ③伴走支援による開発・売込強化事業

県内企業による脱炭素、ヘルスケア、宇宙、ロボット分野への参入を促進するため、県内企業が抱える技術開発や販路開拓への課題に継続的に関わりながら解決を目指し、事業化を支援しました。

### (1) コーディネーター配置

成長産業分野（脱炭素、ロボット、宇宙、ヘルスケア）におけるコーディネーター4名を配置し、技術開発や販路開拓の課題を有する県内企業に対し、市場ニーズの情報提供や技術的助言、伴走支援企業との取引につながる企業の紹介などの伴走支援を行いました。

<活動状況>

伴走支援件数：脱炭素分野 10社、ロボット分野 10社、

宇宙分野 8社、ヘルスケア分野 4社 / 合計 32社  
企業訪問件数（伴走支援企業以外）：53社、62件

(2) セミナーの開催

県内企業等を対象に、脱炭素分野（複合材料関連技術、脱炭素関連技術）、ロボット分野の技術開発等に関するセミナーを3回開催しました。

- ・ロボット導入セミナー  
「ゼロから始めるロボット導入 —製造現場への活用事例とその効果—」
- ・複合材料セミナー  
「炭素繊維複合材料の最新の研究開発動向」
- ・脱炭素関連技術シーズ紹介セミナー

④ 技術交流会支援

○ 県外大企業との技術交流会支援

大手企業をターゲットに本県の技術シーズを売り込み、商品開発・研究部門を対象とした技術交流会を開催、継続的にフォローを実施することにより、商品開発の初期段階への売込みを促進し、共同研究の実施につなげ、県内企業の新規取引先や販路の拡大を支援しました。

<交流会実施先大手企業>

- ・ エステー(株)

《令和7年11月7日 福井県新技術・新工法展示商談会 in エステー》

会 場：エステー(株)本社 3階 会議室

来場者：89名

出展者：16社・機関

⑤ 研究開発フォローアップ

戦略的基盤技術高度化支援等の受託事業について、事業終了後の補完研究、事業化状況、新事業展開等のフォローアップ等を行いました。

産学官共同研究プロジェクト等による売上増加額 30,818千円

(4) 受託研究・共同研究（5,977,820円）

県内ものづくり企業等の技術・製品の成長分野への進出を促進するため、県外企業等から研究に要する経費を受入れ、オープンイノベーション推進機構をとおして、受託研究や共同研究を実施しました。

(5) 技術情報化推進（922,819円）

福井県工業技術センターの技術開発成果等をインターネットで発信・提供を推進する事業を福井県から受託して行いました。

(6) デザイン情報提供 (449, 142 円)

①デザイン情報の収集・発信

さまざまなデザイン情報を収集し、インターネットや情報誌などを用いて、県内企業やデザイナーに情報を配信しました。

○Facebook や Instagram 等を活用した情報提供 (随時)

○デザインライブラリーの整備(デザイン関連雑誌5誌 他)

②クリエイターバンクの整備

県内デザイナーを活動別に分類・登録し、企業等に紹介しました。

登録公開デザイナー数 113名

③デザイン指導相談

企業が抱えるデザインに関する課題に対して、職員が相談および指導を行いました。

指導相談件数 1,201件

④職員の派遣(審査員、委員、講師等) 派遣件数 5件

審査員等として職員を派遣し、デザイン啓発支援を行いました。

(7) デザインラウンジ交流 (949, 915 円)

県内産業のデザイン力および市場への販路開拓力の向上を目的に、福井ものづくりキャンパス施設等を活用した展示企画を実施しました。

○県内企画 (実施回数 5回)

○県外企画 (実施回数 2回)

(8) 福井ものづくりキャンパス教室運営 (2,833,901 円)

福井ものづくりキャンパスを、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業、職人、デザイナー、学生など幅広い層を対象に講座・教室等を開催しました。

○メディア発信

「ものづくりラジオ」

実施方法 FM 福井 番組「Morning tune」内コーナーにて放送

実施回数 全7回 (各20分)

○講座・教室

会場：福井ものづくりキャンパス ワークルーム等

・工芸ワークショップ 4回 参加者数 87名

○広報関係

福井ものづくりキャンパスの講座・教室等を新たに開設した専用ページに加え、ラジオ、インターネット、SNS等を活用して広報しました。

(9) 産業デザインプロデュース (2, 403, 707円)

①デザイナー派遣

商品企画、デザイン開発、販路開拓等、企業の要請に応じ、県内の専門デザイナーを派遣し、具体的な指導を行いました。

○派遣企業数 5社 派遣回数 30回

②グループカウンセリング

団体、企業グループを対象に、市場動向、商品企画、デザイン評価等共通する課題に対し、第一線で活躍しているデザイナー等の指導によるカウンセリングを行いました。

○指導グループ数 4グループ 指導回数 6回

(10) デザインアカデミー (4, 098, 542円)

県内中小企業の経営者や商品開発担当者に対して、デザインマネジメントや商品開発手法、デザインプロモーション戦略に関する研修を実施しました。

○ブランディング&商品開発講座 受講者数 20名

○デザインレクチャー 受講者数：70名

(11) ふくいクリエイティブ・ホーム運営事業 (14, 882, 551円)

令和6年に福井駅前に開設した県内クリエイターと事業者、県民が気軽に交流できる拠点「ふくいクリエイティブ・ホーム Cream」において、デザイン相談窓口を設置し、デザイナーと企業のマッチング支援や商品開発・ブランディング支援を行なった。また、スクーリングの開催やクリエイターバンクの整備を行なうことで、人材の育成や掘り起しを図った。

○相談窓口の設置 相談・利用実績 1, 075名

○マッチング クリエイターとのマッチング実績 28件

クリエイターによる事業者訪問 13件

クリエイターバンクの運営 登録者113名

○イベント開催

クリエイター向けスクーリング、交流会 参加者数：合計387名

クリエイティブ啓発イベント 1回 参加者数：200名

## 人材育成に関する事業【公益目的事業5】（114,720,116円）

企業等の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

### （1）人材育成《集合研修》（2,227,588円）

多様な企業ニーズに応じた研修テーマを設定して、集合研修を実施しました。

- 「会議の生産性を高めるファシリテーション」や「生成AIを活用したマーケティング業務効率化セミナー」など時流に沿ったテーマを設定し、オンライン研修をより充実させるなど多様な選択肢を提供しました。

計10講座 受講者数107人

### （2）福井県中小企業産業大学校運営（63,284,529円）

#### ①中小企業産業大学校施設運営

指定管理者として、県内中小企業における研修や会議等に必要な施設・設備の提供や、維持管理等の運営業務を行いました。駐車場の早期除雪対応や感染症対策を行い、利用者が安全に安心して利用できる環境を整えました。

- 施設貸出件数 1,690件
- 大教室用小型プロジェクターを整備
- 大学校内の全てのトイレを洋式化
- ホワイトボード、パーテーション、マグネット等を無料で貸出し

#### ②経営・技術人材育成

中小企業の経営者、管理者および技術者等の育成と能力向上を図るための研修を実施しました。

- 新社会人研修や管理者向けの研修 27講座 受講者数 502人
- 眼鏡およびその他の専門分野の  
生産技術に関する研修 3講座 受講者数 65人
- 産業技術専門学院連携実務講座 1講座 受講者数 8人
- 公開講座（産業技術専門学院連携ほか） 2講座 受講者数 113人

#### ③キャリアアップ支援

中小企業産業大学校に「リカレント教育総合支援センター」を設置し、働きながら学ぶ従業員のキャリアアップを支援しました。また、企業の人材育成計画についての相談には、それぞれの課題やニーズにあわせて支援しました。

- 大学等の講座情報の収集および提供
- 自主学习支援ブースの設置
- 通信制大学の入学説明会等の誘致

入学説明会は新型コロナウイルス感染拡大以降、各大学の方針で合同での対面方式から単体でのオンライン方式に移行し、対面での合同説明会はなかったものの、各大学個別の説明会の開催を支援しました。

○公開講座の開催

組織がパフォーマンスを上げ、働く人から選ばれ続けるための組織開発をテーマとする公開講座『～誰も取り残さない組織開発へ～「能力主義を超えた新しい組織づくりのあり方」』を開催し、経営者や人事担当者を中心に62名が受講しました。

○キャリアアップに関する相談実施

相談件数 専門家対応 2件 職員対応 55件

**(3) 企業の生産性向上支援・ものづくり改善提案具体化事業**

①ものづくり改善インストラクタースクール (①②(2)に含む)

県内ものづくり企業の生産現場の問題把握や業務改善の助言・指導を行う人材を育てる「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を開講しました。

開催期間：令和7年6月25日～10月23日 18日間

(座学7日・現場実習7日・発表資料作成2日・成果発表会2日)

受講者：6名

②ものづくり改善インストラクター派遣

スクールを修了した企業OBを専門家として、有料で県内企業に派遣し、具体的な現場改善活動を支援しました。

インストラクター派遣数 6企業 延べ30回

③ものづくり改善提案具体化 (1,026,389円)

「ものづくり改善インストラクタースクール」において「現場改善実習」や「派遣事業」を実施した企業からの要望を受け、改善提案の次のステップとして、現場での実践・展開を通して具体的な生産性向上につなげる「改善提案の具体化」の支援をしました。

インストラクター派遣数 4企業 延べ29回

**(4) オンデマンド型リスキリング促進(県委託)(3,728,162円)**

オンデマンド学習サービス「UdemyBusiness」の受講環境を整備することで、地理的、時間的な制約を持つ県内企業従業員等の積極的な学び直しを支援しました。

・受講アカウント数：181アカウント

(内訳) 企業：35社 158アカウント 個人：23アカウント

## 企業等の個別の要望に対して実施する経営支援等に関する事業

### 【収益事業1】(2,883,338円)

中小企業等の成長促進のため、公益事業で行っている事業では対応できない、企業等が求める個別具体的な課題解決に対し、専門性の高いニーズに対応するため、当センターが持つ支援機能およびネットワークを活用して支援を行いました。

#### (1) 経営コンサルティング(221,296円)

今年度は実施しませんでした。

#### (2) 教育コンサルティング(2,593,639円)

研修指導に定評のある講師陣とのネットワークを活かし、企業の社内研修プログラムの企画立案と講師の選定・派遣、当日の運営サポートを行いました。

○実施件数 8企業・団体 8件

#### (3) デザイン受託(0円)

今年度は実施しませんでした。

## 法人事業(67,669,713円)

事務所および情報機器等の借上・運営や、資質向上を図るための職員の研修など、法人の運営・管理を行いました。

①法人運営に要する事務局経費

②職員能力開発強化

職員の資質向上を図るため、中小企業基盤整備機構の中小企業大学校で開催される研修等に職員を派遣しました。

○研修派遣職員数 2人

## 法人の運営体制の充実を図るための取組

①理事長・常務理事および部長で組織する会議の開催

②外部有識者による委員会等の開催

・カリキュラム検討委員会

・外部評価委員会

・各助成金の選考委員会

③県および会計監査人による定期的な監査